

各部からの報告

総務部

総務部長 縣 裕久

○令和6年度定例総会

日時 令和6年4月26日

場所 如水会館

出席者 31名

○納涼会

日時 令和6年9月6日

場所 泰南飯店

出席者 29名

○第一ブロック保護司組織運営連絡協議会

日時 令和6年10月4日

場所 如水会館

○区長との懇談会（予定）

日時 令和6年12月17日

場所 区役所会議室

研修部

研修部長 小山 千恵

○特別研修

テーマ 発達障害について

日時 令和6年6月28日

場所 東京保護観察所集団処遇室

○第Ⅰ期定例研修

テーマ 薬物事犯者の処遇について

日時 令和6年6月12日

場所 区役所会議室

○第Ⅱ期定例研修（予定）

テーマ 個人情報保護・情報セキュリティについて

日時 令和6年11月19日

場所 区役所会議室

○準定例研修（予定）

日時 令和6年12月17日

場所 区役所会議室

地域活動部

地域活動部長 平井 由紀子

○各地区ミニ集会応援

広報部

広報部長 尾添 章子

○部会開催

日時 令和6年6月12日 打合せ

6月27日 打合せ

8月1日 打合せ

8月27日 打合せ

9月10日 第一回校正

10月1日 第一稿確認

10月10日 第二稿確認

編集後記

滋賀県で起きた保護観察中の対象者による担当保護司の刺殺事件が、マスコミでセンセーショナルに報道されて半年近くが経ちました。その間に保護観察におけるリスク軽減のため、保護観察の仕方にも変化がありました。以前にも増して、複数担当制による面接の実施や、来訪による担当保護司宅以外の場所での面接の実施などです。これらの方法をとる事が難しい保護区があるなか、当千代田保護区では、対象者の数に対して十分な人数の保護司が所属しており、複数担当制を可能としています。又、保護司の自宅以外での面接場所として、サポートセンターの他にも、区役所本庁舎や各出張所の会議室も無料で利用する事ができるなど、他の保護区に比べ恵まれた環境で活動出来ることに感謝する次第です。

（熊倉）

広報部（順不同）

部長 尾添 章子

副部長 土島 豊裕 堤 美代子

井上 優美子 影山 純子 熊倉 章洋

瀬谷 達郎 堀田 健二 安田 郁子

発行人 千代田区保護司会会長 藤田 義一

編集人 千代田区保護司会広報部

連絡先 千代田区九段南一ノ二ノ一

千代田区役所福祉総務課厚生係
年2回・一四〇〇部発行



“社会を明るくする運動”駅頭広報活動
～みんなで作る明るい未来～ JR飯田橋駅にて



持続可能な保護司制度の確立に向けて

東京保護観察所長 杉山 弘晃

千代田区保護司会の皆様、関係機関の皆様には、日頃から更生保護の諸活動に多大なる御尽力を賜り、心から感謝申し上げます。

私は、本年度から東京保護観察所長を務めております。皆様に地域の実情を教えていただきながら、微力を尽くしてまいります。

千代田区保護司会の皆様には、関係機関・団体の皆様と連携し「社会を明るくする運動」に積極的に取り組んでいただき、工夫を凝らした諸活動を長年にわたり継続して下さり、とても心強く思います。

また、全国に先駆けて千代田区に策定していただいた「千代田区再犯防止推進計画」に基づき、更生保護サポートセンターを活動拠点としつつ、再犯防止に関する様々な取組を推進されていることに、心から敬意と感謝を申し上げます。

長年にわたる皆様のお力添えのお陰を持ちまして、本年、更生保護制度は75周年の節目を迎えました。対象者一人ひとりの更生を支え、また様々な地域活動を継続して下さる保護司の皆様は「地域社会の安全・安

心にとって欠くことのできない存在」となっていますが、社会経済情勢等を背景として、この制度を支え続けて下さっている保護司の担い手確保が年々課題になっています。

昨年、法務省に設置された有識者等による「持続可能な保護司制度の確立に向けた検討会」において、保護司の使命、待遇や活動環境、推薦・委嘱の手順、年齢条件、職務内容、保護観察官との協働態勢等について、多角的な議論が続けられてきました。また、検討結果のとりまとめ（報告書）を受け、今後、保護観察所におきましては、幅広い世代から様々な分野の皆様を保護司に迎え入れるため、一人でも多くの方に保護司活動を御理解いただけるよう、様々な取組の実施に努めてまいります。

また、年間を通じて「社会を明るくする運動」の推進による保護司活動への理解促進にも積極的に取り組んでまいりますので、引き続き皆様の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

■退任にあたり

辻 登茂子

この度5月25日を持ちまして退任する事となりました。平成12年に保護司の拝命を受けて以来、長い間皆様には大変お世話になりました。更生保護活動は様々な事を教えて頂き、又経験し、私に取りまして学びの場でありました。長きに渡り皆様のご支援ご協力に感謝申し上げます。これからは皆様にお会い出来る機会も少なくなり、一抹の寂しさもありますが、皆様のご活躍とご健康を祈念し、退任の挨拶と致します。長い間ありがとうございます。

(5月24日退任)

■退任のあいさつ

森田 久美子

私は約20年前、全国保護司連盟の事務局に勤務することになった際に、千代田区の保護司会に入らせていただきました。千代田区に住んでいないにもかかわらず、千代田区保護司会の皆様には温かく迎え入れていただき、心から感謝申し上げます。

千代田区は、あちこちに江戸時代の名残りが感じられ、保護司の皆様にも何代も前から江戸っ子という方がいらつしやってお話を伺うのも楽しく、歴史を感じました。ある年の社明反省会は、一度乗ってみたいとあこがれていた屋形船クルーズでした。貝のつくだ煮などを売りに来る小舟や、東京湾の美しい夜景など、今でも思い出に

残っています。

何のお役にも立ちませんでしたが、研修会や社明運動などに参加させていただき、皆様と交流できたことは、良い思い出になっています。

この度、保護司を退任するにあたり、皆様への感謝を申し上げ、千代田区保護司会のますますのご発展をお祈りいたします。

(5月31日退任)

■退任を迎えて

木ノ島 希久子

昭和63年保護司に任用されて以来、大過なく36年間の保護司活動を終え、令和6年に退任いたしました。そのうち4年は会長として、千代田区再犯防止推進計画策定、Day by Dayちよだ(女性の薬物対象者)、サポートセンターの開設、フイリピン研修旅行とたくさんさんの経験をさせていただきました。任用された時は諸先輩方に助けていただいていたばかりでしたが、いつの間にか自分が最古参。あつという間だったと感じておりますが、それだけ充実した保護司生活を送れたということかと思えます。

国際交流にも関わり、日本の保護司を高く評価してくださっている欧州保護観察連合のピッツ大使、国際矯正司法心理学教会前会長ポリーノ博士と何度かお話しする機会がありました。その際に「保護司活動は日々、落ち込んだり心配したりの連続。しかし研鑽を積みながら、保護司としての活動を自信と誇りをもって続けて欲しい。

い。」と応援していただいたのが忘れられません。世界で認められる保護司制度が今後も長く続くよう、願っております。

(8月31日退任)

■退任にあたり

後藤 寛子

平成6年9月1日に拝命を受けて以来、31年間皆様と共に活動出来ましたことを感謝申し上げます。

はじめは何か何だか分からずに先輩保護司の姿を見習いながらの活動でした。この間、担当をした対象者は7、8人でした。その中でも難しい対象者もありましたが、基本的に対象者を一人の人間として受け入れることを心掛けて向きあってきました。

また、思いがけず会長をさせて頂き、会長2年目(令和2年)にはコロナが流行し、全ての行事が中止になりました。それにともない、リモート会議等々これまでに経験したことがない事がたくさんありました。出来ない事を出来ないいとせず、何か良い方法があるのでと皆様の協力で進めて来られましたことは、私の中でも貴重な体験でした。

昨年は皆様と事務局のご協力を頂き、70周年記念誌・式典に携わることが出来ました。ありがとうございます。

これからの千代田区保護司会の益々の発展をお祈り申し上げます。

(8月31日退任)

千代田区
更生保護女性会

■会長就任にあたって

更生保護女性会

会長 松本 道子

このたび、更生保護女性会の会長に就任いたしました松本道子でございます。

まず初めに、当会を

支えてこられた前会長

をはじめ、保護司会、更生保護女性会会員の皆様、そして地域の方々に心より感謝申し上げます。

私たちの活動は更生施設への調理サービスと子育て支援、駅頭一斉広報活動や街頭パレード等の社会を明るくする運動、三地区で行われるミニ集会への参加などです。会員の皆様のためまぬ努力と献身的な奉仕のおかげで、当会は千代田区で活動できております。

これらの活動は極めて意義深い活動だと確信しております。地域社会全体の安全と調和を促進し、より良い社会の実現に貢献するものです。

また、次世代を担う若者たちに私たちの

活動の意義を伝え、新たな会員の増強にも努めていきたいと思っております。

もちろん皆様お一人おひとりのご支援とご協力が不可欠です。今後とも、更生保護女性会の活動に対し、変わらぬご理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、私たちの活動が犯罪や非行に悩む方々に希望の光を与え、同時に千代田区の安全で温かい地域社会づくりに寄与することを心より願っております。共に手を取り合い、一步一步前進してまいりたいと思えます。

どうぞよろしくお願いいたします。

■更生施設斉修会調理サービス

神田公園地区

小松 恵子

更生保護女性会神田地区の6名で、令和5年6月新施設になってから初めての(斉修会)調理サービスに、令和6年6月26日に伺いました。調理サービス目前に新施設を見学させていただき、台所が以前より少し狭くなっていましたので、それに対応するように献立を考え、一皿一皿盛り付けたら台所から食堂へ運び、皆がスムーズに活動できるように台所と食堂を使いました。

献立は、油を使わずチキンカツの揚げ物(ミニトマト・ブロッコリー・キャベツ添え)カニカマときゅうりの酢の物、じゃが



■**叙勲**

5月のある日突然、法務省より電話があり勲章を授けるが、受け取る意思があるかどうかの打診でした。勿論二つ返事で「はい」と答えました。そして法務省の担当者からこの事はしばらく話をするなど釘を刺されました。

と云っても心の中では本当に予期しない話で嬉しく有頂天になっていました。

思い返せば油の乗りかけた60歳を前に病に倒れ社会から長期離脱、後半の活動は思うようにできず大変苦勞し、皆様に助けていただきました。

授章式。当日は大雨で朝からそわそわして出発の用意をしました。法務省から皇居まではバスで向かい、大雨にもかかわらず一粒の雨にも濡れず、職員の皆様ありがとうございました。

そして静寂の皇居の中はまるで絵に描いた景色でした。

しばらく待つと天皇陛下が御出まし労いのお言葉がありました。

そして超接近（約10メートル）

こんな場所に來られたのも自分より功績のある他の人々の中で選ばれたのは妻のお陰、保護司の皆様のお陰と胸が熱くなり、本当に本当にありがとうございます。

残り少ない人生宜しく願っています。



小笠原 正

■**第I期定期研修**

「薬物事犯者の処遇について」

磯網主任官を講師にお迎えし、依然として再入率の高い薬物事犯者に対し、効果的な処遇を学ぶ為に研修を行いました。特に大麻関連の摘発者は年々増加傾向で、令和5年には20代以下が7割以上を占めており、SNS等で「大麻は害がない」とする誤った情報が浸透していることも一因とされています。

それに伴い「大麻使用罪」が公布され、所持、譲渡に加え一部を除き使用も禁止になりました。さらに「更生保護法」や「薬物再乱用防止プログラム」も改正され、対象者の支援継続につながる事が期待されます。

対象者の事例研究では、グループ討議をしその結果を発表しました。「対象者が再び薬物を使い始めるきっかけ（引き金）を起こさせないために、本人が夢中になれる健全なことを見つけさせる」との共感できる意見も出ました。

薬物依存者が完全に立ち直ることは非常に難しく、なかには「生きていく為には薬物は必要だった」と話す対象者もいるので、再び使用したくなった時に相手の気持ちを受け止めて、焦らない姿勢が大切とのこと。難しい対応ですが、今後に活かしたいと思っています。

岸 啓子

開催日 令和6年6月12日
場 所 区役所会議室

■**特別研修**

「発達障害について」

初めに発達障害の定義・概要の講義がありました。ASD・ADHDなど様々な発達障害はいは脳機能障害であり、その症状は通常低年齢において発現するものと定義されたのが20年前のことです。特徴は、家庭や学校など複数の場面でコミュニケーションや対人関係で困難が生じ、生きづらさを抱えてしまうと説明がありました。

次に「発達障害がい者への適切な支援・関わり方について」のご講話をいただきました。対話の基本は、水平的関係を築き、その関係性を確固とした上で相手の主体性を認め、否定・断定をせず、私メッセージで話すことと再認識いたしました。

周囲の人が発達障害がい者と診断された人の独自性を理解し、各人に応じた支援・対応を行うことが、生きづらさの解消に繋がります。

時代に即したテーマで、学ぶことの多い研修でした。

※「発達障害がい」の害を平仮名で表記したのは、講話して下さった八巻教授の意を汲んだものです。

八巻教授は8月にご逝去されました。ご冥福をお祈り申し上げます。

西村 京子

開催日 令和6年6月28日
場 所 東京保護観察所

ポスター・標語コンテスト入選作品

令和6年7月30日、選考審査会が開催されました。応募数は、標語が小学生1798点、中学生89点の計1887点、ポスターが小学生18点でした

■**標語**

推進委員会委員長賞
犯罪を
止める勇氣に 金メダル
お茶の水小学校4年
伊藤 湊

君の手で
笑顔は増やせる いくつでも
神田一橋中学校2年
澤田 彩

保護司会長賞
勇氣だし
声をかければ 未来が変わる
富士見小学校6年
蔣 騰淵

世の中の
つらさ認めて 生きていこう
神田一橋中学校2年
藤田 凜太郎



更生保護女性会長賞
ありがとう
笑顔になれる 一言で
番町小学校6年
大塚 煌輝

誰にでも
さしのべる手は かならずある
神田一橋中学校2年
小野 綾子

審査員特別賞（22点）

麴町小学校	4点
九段小学校	1点
番町小学校	2点
富士見小学校	0点
お茶の水小学校	2点
千代田小学校	2点
昌平小学校	7点
和泉小学校	2点
神田一橋中学校	2点

佳作（156点）

麴町小学校	6点
九段小学校	8点
番町小学校	11点
富士見小学校	29点
お茶の水小学校	27点
千代田小学校	3点
昌平小学校	18点
和泉小学校	24点
神田一橋中学校	1点
一般	1点

ポスター

よりやさしく
明るい社会

人とめよう
みんな
なにかまだよ

更生保護女性会長賞
昌平小学校2年
吉村 ひより

保護司会長賞
千代田小学校4年
高江 柚果

推進委員会委員長賞
昌平小学校4年
吉村 愛里



初めに藤田保護司会会長、樋口区長よりこのミニ集会の行われる目的を児童の皆さんに伝えていただき、合わせて挨拶を頂きました。

まず、泉笑会さまより神田囃子に合わせた獅子舞が披露されました。獅子舞は「獅子の子落とし」を表現しているそうで、お囃子に合わせた見事な舞を披露していただきました。厄除け、学力向上などを願って来場者全員の頭を囃んでいただき、子どもたちにはよい体験ができたのではないかと思います。

講演では石川るり子先生によるワークシヨップ「リズムでつなごう心と心」が行われました。6年生の児童全員にいろいろな大きさの太鼓を叩いてもらい、石川先生の指示でリズムをとったり、ベースの音に合わせて自由にリズムをとったりと楽しく太鼓をたたいていました。初めてのうちはバラバラだったリズムが、先生の指示がなくても揃っていき、テーマどおり6年生全員がリズムでつながっていき、心がつながることを強く感じる講演でした。

その後万世橋警察署生活安全課正木課長より、万引きの罪の大きさなどのお話を頂き、最後に昌平小学校に岡校長のご講演を頂き、今回のミニ集会を終えました。



万世橋・和泉橋地区ミニ集会



JR神田駅

7月1日に社会を明るくする運動の駅頭一斉広報活動が行われました。

駅頭一斉広報活動の報告

JR 飯田橋駅 8時30分～
JR 神田駅 8時30分～
JR 秋葉原駅 15時30分～
地下鉄神保町駅 16時～

第74回 社会を明るくする運動

■ 麹町・富士見地区ミニ集会

小林 加乃

開催日 令和6年7月11日
場所 九段小学校体育館

今回は開催校の九段小学校の地域懇談会も兼ねたミニ集会となり、九段小学校の教職員・保護者・地域の方々が多く参加していました。

藤田保護司会会長、社明運動推進委員長である樋口区長のご挨拶に続き、地域に根ざした教育活動の発表として、九段小学校難波校長および先生方より「ちよだ楽」への参加を通じて地域の特色を深く理解できたこと。「アダプトファミリーロード花植活動」を全校生徒・町会・社協・大妻女子大学の学生等地域の方々と協力して行っているとの報告がありました。

その後、参加者がグループに分かれて地域懇談会を行いました。



麹町富士見地区ミニ集会

するなどの提案がありました。

麹町警察署による管内の近況報告の後、学校発達心理研究所・発田憲先生の講演があり、思春期の子どもの発達段階に応じた大人の対応が必要であること、子どもに関心を持って話を聞くことの重要性についてのお話がありました。

様々な事柄について話を聞くことができ、実りのある時間となりました。

■ 神保町・神田公園地区ミニ集会

柿内 健介

開催日 令和6年7月12日
場所 お茶の水小学校体育館

今年度のミニ集会は新築のお茶の水小学校体育館にて行われました。お茶の水小学校5・6年生によるマーチングバンドの演奏の後、「子どもをめぐる身近な性犯罪について」をテーマに千代田区の保護司でもある上谷さくら弁護士にご講演いただきました。

上谷弁護士は主に犯罪被害者支援、家事事件など多く取り扱っていて、ご自身は小学生の保護者でもあります。講演内容としては子どもの性被害を取り締まる法令や平成29年改正の性被害関係法令について説明があり、また、令和5年に改正のあった法令の内、未成年に関わる部分や諸外国での法令取り扱い年齢の違いなど、法令解釈を多角的に解説されました。

近年の小学生で特に問題となっているのは盗撮事件であり、スマホの普及により盗撮は加害者及び被害者どちらにもなり得る時代となっています。さらに盗撮は非接触型の犯罪であり、被害者が気付きにくいため取り締まりが困難なケースもあります。デジタルで記録されたデータの送信の繰り返しや拡散で全てを削除することが困難になり深刻な被害となり得、同じく自

撮り被害も増加しています。また、痴漢は心身に深い傷となり、痴漢のエスカレートは他の性被害に発展する可能性もあり極めて注意が必要です。小中学生の通学時等はとりわけ気をつける必要があります。

講演後、神田警察署生活安全課宮本少年係長から最近の少年事案についてお話しがあり、お茶の水小学校伊藤校長よりご講演をいただきました。



神保町・神田公園地区ミニ集会

■ 万世橋・和泉橋地区ミニ集会

唐澤 俊一郎

開催日 令和6年7月18日
場所 和泉小学校体育館

令和6年度第74回社会を明るくする運動のミニ集会が和泉小学校体育館で参加者120名以上を集めて盛大に行われました。



地下鉄神保町駅



JR秋葉原駅